



ランナー vol.2



2017年12月



編集長 武藤の巻頭ご挨拶

先月に比べ、ぐっと冷え込む日が増えてきました。冷え性である私には辛い季節がやってきました。

ランナーでは紙での配布の他に、メールマガジンの開始やホームページでの掲載が始まりました。興味のある方は、お近くの大仙の社員までお問合せ下さい。

また、今回から水産に関するコーナーが始まりました。初回は「なんで大仙で水産なの?」といった疑問に答えていきます。



大地の千葉研究農場トマト便り

11月にも入り、街にはクリスマスソングが流れ始め、冬の到来を改めて感じております。衣替えが追いつかず、半袖は何枚着ても半袖であることを知った筆者の森内です。

さて、千葉農場では、キャロル10 (サカタのタネ) を栽培中です。その特徴について紹介します。

1. 萎凋病 (F:R-1)、ToMV (Tm-2a型)、葉かび病に抵抗性で、斑点病に耐病性、ネマトーダに耐虫性のミニトマトです。
2. 草勢ややおとなしく、若苗定植が可能でつくりやすいです。
3. 裂果の発生が少なく、果ぞろいよく、上物率が高いです。
4. 果実は肉厚で、果皮が薄く口に残らず、高糖度で食味極良です。果実はテリがあり、果色が鮮やかで、とくに照明下での見栄えがよいです。
5. 下段からダブル花房でとくに初期収量があがります。(サカタのタネHPより抜粋)

千葉農場でも上記の特徴を感じており、見た目・食味ともに良好です。

山ちゃんの西三河研究農場イチゴ便り

朝夕と冷えこむ季節となり、体調管理には一層気をつけたいといけませんね。冷えこんできたからこそ、鍋がおいしい季節となりました。週3、4日は鍋にしている私です。

さて、西三河農場ではイチゴ栽培を行っています。今回は、実際に栽培を行っている‘かおり野’という品種について紹介します。

かおり野は灰色かび病は発生しやすいですが、炭そ病抵抗性をもち、うどんこ病にも強いです。花芽分化しやすい特性の為、腋花房以降の連続出蕾性も非常に高く、多収要因として期待できます。

果実は、①爽やかな甘みと上品な香り、②糖度が高く、酸度が低い、③果肉はジューシーで、果皮は草姫より強いが、さがほのかよりやや弱い、④草勢が強くなりすぎた場合、頂果の果形が乱れやすく、空洞果や縦溝果が発生することがある といった特徴があります。



11月終わりから収穫が始まります。特にかおり野は草勢が強くなりやすいので、環境制御、肥培管理などを適正に行い、コントロールをしていきます。

気になるあの人にインタビュー



プロフィール

代表取締役会長 鈴木秀典 (すずきひでのり)

1955年9月24日生 (62歳)

主な経歴

- 1977年4月 入社
- 2004年12月 代表取締役社長就任
- 2014年8月 代表取締役会長就任

初めまして。西三河研究農場の河村と申します。普段はイチゴの栽培と指導を行っております。

今回は大変お忙しい中、代表取締役会長 鈴木秀典氏にお話を伺い、現在の大仙を取り巻く環境や普段大切にしていることなどを伺いました。入社から半年を過ぎ、会社の雰囲気慣れてきた頃でしたので、今回のインタビューで新入社員としてやるべき事は何か改めて気付かされました。その内容を一部抜粋して掲載いたします。

—現在の大仙を取り巻く環境についてどう思われますか？

農業は厳しい面があります。農業者人口が減少し、新規に建設する温室が減少していく中で、技術の進歩によりそのままの施設でも多収が可能になっています。また韓国産パプリカなど国外、特にアジア諸国からの農作物輸入が増えています。これからは国内だけではなく国外に目を向けて、1つ1つハードルをクリアしていくチャレンジ精神が必要になるでしょう。

—社員教育としてされていることは何でしょうか。

大仙では自己啓発を推進しています。例えば英語やビジネス、建設についてなどです。ビジネスについては、社員全員がビジネス情報をメールで受信し、研修ビデオの視聴が可能なサービスを利用できる環境を整えています。社員は時間と意欲さえあればいつでもビジネスマナーや人事労務、法務、財務等、社会人に必要な情報を無料で手に入れることができるのです。ぜひ社員の方々には利用していただきたいです。

また、資格所有者には資格手当を支給しています。社内規則に記載されていない資格でも、今後手当が支給できるような体制にしていきたいと考えています。例えば、TOEICなど英語の資格については現在は記載がされていませんが、他の資格でも申請していただければ考慮したいですし、自身の為、会社の為になる資格は意欲的に取得していただければと思います。

—最後にお客様へのメッセージをお願いします。

株式会社 大仙は今年で創業125周年という節目の年を迎えました。ロゴやキャッチコピーを一新し、新たな心気意で、歴史に誇ることなく常に挑んでいきます。日々お客様に感謝し、確実に良い仕事ができるよう精進いたしますので、これからもご協力の程お願い申し上げます。

—本日はお忙しい中、ありがとうございました。

STEP UP

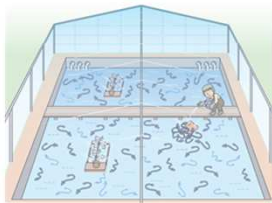


ゆうさんの水産豆知識

水産の話をするにあたって、多くの読者の方が「なんで大仙が水産なの？」と疑問に持たれるかと思ひます。ですので、第一回は大仙が水産を始めた理由について、針生事業部長に伺いました。

『元々温室の建築を行ってきた大仙が、水産を始めたきっかけは、静岡県にある水産試験場の養鰻場の設計に携わったことでした。以前より農林水産という考えは根本にありましたが、その当時水産分野は手付かずの状態でした。』

私が九州に転勤になった際、鹿児島ではウナギの養殖が盛んだという事を知りました。しかしながら、水産に手を付けている所は少なく、大仙も最初は池にハウスをかぶせるだけのものを販売していました。その後、水産に力を入れ、今ではシステム全体を販売するに至りました。現状では、エサは生魚を加工したものを使っていますが、今後は食べ物や環境を考慮することが重要ですので、エサも養殖していくつもりです。



水産は大きなサイクルの1部でしかなく、農業や他産業と水産を技術で繋げることができれば、環境向上や工コに繋がります。大仙は、元々温室の建築を行ってきました。そこで得た農業に関する知識や経験、技術を水産に繋げていきたいと考えています。』

読者の皆様に、少しでも大仙が水産を始めた理由を知っていただければ嬉しく思ひます。来月からは、コーナー名でもあります「水産豆知識」を皆様にお伝えしていきます。

神さまのシステム用語・計算方法

日射量について(その2)

傾斜立面は対向している建築物から反射日射を受けています。その反射日射量というのは、建築物の配置や反射率、直達日射の方向などで変化します。そのため算出方法は複雑です。通常略算式によって計算することが多いです。略算式による計算方法を下記に示します。

$$J_{r0} = (1 - (1 + \cos\theta) / 2) \times \rho_G J_h \text{ [W/m}^2\text{]}$$

ρ_G : 地面の日射反射率(アルベート)

J_h : 水平面全日射量(直達日射量(J_{dh}))+天空日射量(J_{sh})※1)



ブーガの式: $J_{dn} = J_0 P (1 / \sin \cdot h) \text{ [W/m}^2\text{]}$

J_{dn} : 法線面直達日射量 (太陽光線に直角な面)

J_0 : 太陽定数(年平均値): 1353[W/m²]

P : 大気透過率(理科年表より算出)

※1: vol.1参照



地表面の状態	アルベート(%)
乾燥した黒土	14
湿った黒土	8
乾燥した灰色の地表面	25~30
湿った灰色の地表面	10~12
乾いた草地	15~25
湿った草地	14~26

地表面の状態	アルベート(%)
森林	4~10
乾燥した砂地	18
湿った砂地	9
新雪	81
残雪	46~70

※日本太陽エネルギー学会編参照



ミッキーの「農」と「食」のお話

先日、出張先で道ばたに真っ赤に咲く花を見つけました。もう椿が咲いているんだ!と思ひましたが、よく考えてみると椿が咲く時期にはまだ早い。何だろうと思ひて調べてみると「山茶花(さざんか)」だとわかりました。山茶花と言えば、童謡「たきび」の歌詞の中で「さざんかさざんか咲いた道、たき火だたき火だ落ち葉たき」でおなじみですね。山茶花は晩秋から初冬にかけて見頃を迎える、まさにこの時期の花です。

山茶花の花は椿に本当に似ています。種類としては、どちらもツバキ科ツバキ属で日本原産ですが、花が咲く時期に違いがあります。山茶花は、季語が「冬」であり、晩秋から初冬にかけて咲きます。一方、椿の季語は「春」であり、寒椿などは冬に咲くものもありますが、代表的な椿は春に咲きます。ちなみに、寒椿は、サザンカとツバキとの種間交雑園芸品種です。また、普段、何気なく飲んでいる「お茶」も「チャンキ(茶の木、学名: Camellia sinensis)」と呼ばれるツバキ科ツバキ属の同じ仲間です。ちなみに学名は、山茶花は Camellia sasanqua、椿は Camellia japonica です。

山茶花と椿は自生する地域にも違いがあり、山茶花は、沖縄や奄美、九州、四国などの温暖な地域に自生しますが、椿は北海道を除く地域で見ることが出来ます。さらに、山茶花は花びらがバラバラに散っていきませんが、椿は花ごとポトリと落ちる特徴があります。



今年は秋晴れが少なかったですが、例年は季節と季節の間に梅雨時のような天候になることがあります。冬から春の菜の花が咲く頃の長雨は「菜種梅雨」、春から夏の梅の実がなる頃は「梅雨」、夏から秋は「秋雨」や「秋霖(しゅうりん)」、秋から冬は「山茶花梅雨」と呼ばれています。山茶花の花びらを散らす冷たい長雨は、本格的な寒い冬の訪れを知らせてくれます。風邪など引かないようにお気を付けてください。

遙ちゃん栽培お役立ちコーナー

12月~2月の予報

気象庁「3か月の平均気温・降水量」「月別の平均気温・降水量」を加工して作成

向こう3か月の天候の見通し(12月~2月)

- ・気温が下がり、本格的に暖房機を稼働させる季節になりました。カーテン等で保温をしても隙間が空いてると、そこから暖かい空気が逃げてしまいます。隙間をなくし、保温効果を上げるようにしましょう。
- ・日本海側では、降雪量が年並みか多い見込みです。雪が積もると、ハウスへの荷重となってしまいますので、暖房を使用して溶かすなど、融雪を心掛けましょう。

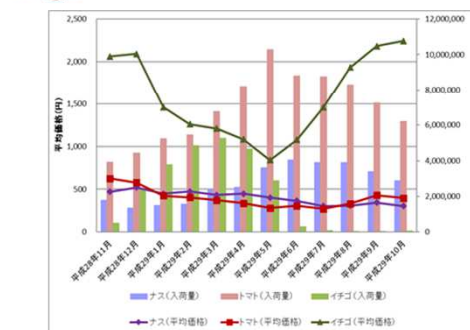
平均気温

地域	平均気温			
	12月~2月	12月	1月	2月
北日本	ほぼ平年並	平年並か低い	平年並か高い	平年並か高い
	日本海側	平年並か多い	ほぼ平年並	平年並か多い
東日本	ほぼ平年並	平年並か低い	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	日本海側	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
西日本	ほぼ平年並	平年並か低い	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	日本海側	平年並か多い	平年並か多い	平年並か多い
沖縄・奄美	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	日本海側	平年並か少ない	ほぼ平年並	平年並か少ない

降水量

地域	降水量			
	12月~2月	12月	1月	2月
北日本	日本海側	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	太平洋側	平年並か多い	ほぼ平年並	平年並か多い
東日本	日本海側	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
	太平洋側	ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並
西日本	日本海側	平年並か多い	平年並か多い	平年並か多い
	太平洋側	平年並か少ない	ほぼ平年並	平年並か少ない
沖縄・奄美	平年並か少ない	ほぼ平年並	平年並か少ない	平年並か少ない

トマト・イチゴ・ナスの平均価格と入荷量



東京都中央卸売市場より、作成
キク・バラの平均価格と入荷量

